

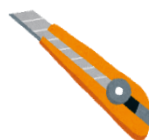
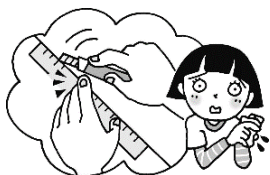


「けがゼロ」で最高の文化祭に！



文化祭準備活動がスタートしています。来週からは午後の日課に文化祭準備の時間が入り、さらに活動が本格化します。準備活動では部門によって、はさみやカッターなど、普段あまり使用することのない道具を使う機会や、重くて大きな物品を運んだり、高い所に上って作業する機会などが増えます。誤った使い方やほんの少しの不注意、さらには、時間と心のゆとりの低下が大きなけがや事故を招いてしまうことがあります。今回の保健だよりでは、「例年、準備活動中のどんなときに、こういったけがが起きているか」を紹介したいと思います。原因と防止のための手立てを知って、けがの予防に努め、安全な活動にしましょう。

ケース①：切り傷

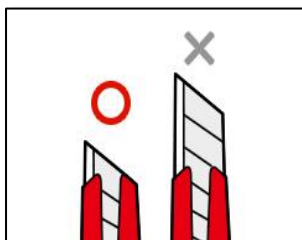


カッターやはさみなどの刃物を使っているとき、切ろうとしているものを押さえている側の手を切ってしまうケースが最も多く、“文化祭あるある”のけがNo.1！

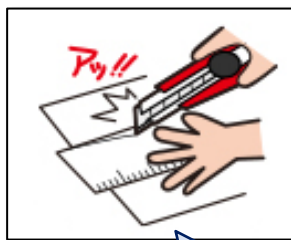
【けがゼロのための手立て】

- ①紙や段ボールなど、切ろうとするものをしっかり固定させること。
- ②押さえる手の位置に気を付けること。
- ③刃物を扱っているときは、周囲を確認すること。

カッターの使い方を再確認！



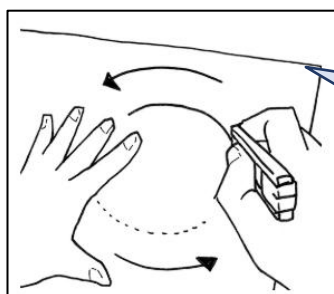
- 刃先の出し過ぎに注意



- 刃の進行方向に手を置かない

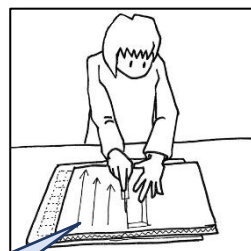


- カッターマットを安定した場所に敷き、切るものしっかり押さえる



- 力を入れ過ぎず、切るものの方を動かすようにする

- 厚いものを切るときは、2回、3回と繰り返して切る



- 使用後、刃はすぐに本体にしまう

ケース②: 刺し傷



板ダンボールやベニヤ板、角材、パネル、画びょうやクギなどを扱っているときに起きるケースが多いです。
“文化祭あるある”のけがNo.2！

【ケガゼロのための手立て】

- ①作業のときは、軍手をはめるなど、素手で扱うことを避ける。
- ②複数の人でお互いに声をかけあって作業する。

ケース③: 挟みこみ



パネルや大型の物品を運んでいるときや設置しているとき、扉の開閉時に起こりやすく、指や手を挟んでしまうけがが多いです。“文化祭あるある”のけがNo.3！

【ケガゼロのための手立て】

- ①運搬や設置のときは、複数の人で安全を確認しながら、お互いに声をかけあって作業する。
- ②扉を開け閉めするときは、他の人がいないかどうか確認してから開け閉めを行う。

ケース④: 落下



脚立や机などに上がって高い所での作業中に、足場が崩れたり、バランスを崩して、高い所から落下してしまうけがが起こりやすいです。他にも、高い所で作業している人が持っているものを落としてしまい、下にいる人に当たってしまうケースもあります。

【ケガゼロのための手立て】

- ①脚立や机などに上がって作業をするときは、グラグラしないように安定した場所に足場を設置する。
- ②足場の下に、安全確認をする人を配置する。

ケース⑤: 転倒・衝突



活動時刻の終了や文化祭当日が迫ってくると、時間と心のゆとりの低下から「廊下を走る」、「安全確認を怠る」などの行動を招き、その結果、転倒、人やものに衝突するといったけがが起こりやすくなります。

【ケガゼロのための手立て】

- ①準備活動は計画的に作業を進める。時間と心にゆとりを…。
- ②移動のときは、いつも通り、廊下を走らない。特に、曲がり角では反対側から来る人がいるかもしれないので注意する。

◆準備期間中から当日まで、自分の体調管理をしっかりとしましょう。
特に、睡眠不足や疲労が溜まってくると、体調不良はもちろん、集中力や注意力が低下し、けがの原因になってしまうこともあります。

